

会 議 録

| | |
|--------------|--|
| 会議名称 | 令和3年度蕨市歯科保健連絡調整会議 |
| 日時 | 令和3年7月15日(木) 13:30～14:50 |
| 会場 | 蕨市保健センター2階 健康教育室 |
| 出席者 (敬称略) | ◎山岡 昌彦 蕨市田歯科医師会会長 羽根田 高洋 蕨市田歯科医師会 望月 公博 蕨市田歯科医師会 杉村 麻央 蕨市田歯科医師会 飯田 努 蕨市田市医師会 岡田 あやか(埼玉県南部保健所所長 加瀬 勝一 代理出席) 根津 賢治 蕨市健康福祉部長 |
| 欠席者 | なし |
| 事務局 | 石丸所長 細野保健指導係長 伊藤保健師 山岸保健師 |
| 配布資料 | 【事前送付資料】 ・蕨市歯科保健連絡調整会議次第 資料 No.1 令和2年度蕨市保健事業統計(歯科保健のみ抜粋) 資料 No.2 令和3年度蕨市歯科保健事業予定 【当日配布資料】 資料 No.3 蕨市歯周疾患検診実施状況 資料 No.4 蕨市歯周疾患検診受診券、勸奨通知、チラシ、ポスター 資料 No.5 蕨市20歳の歯科健康診査受診勸奨通知 資料 No.6 蕨市妊婦歯科健診チラシ、ポスター ・蕨市歯科保健連絡調整会議設置要綱 ・蕨市歯科保健連絡調整会議委員名簿 |
| 会議次第 | 1 開 会 2 会長あいさつ 3 自己紹介 4 議 題 (1) 令和2年度 実施事業結果について (2) 令和3年度 蕨市歯科保健事業について (3) その他 5 閉 会 |

1 開 会

2 会長あいさつ

3 自己紹介

4 議 題

(1) 令和2年度 実施事業結果について

事務局：令和2年度 実施事業結果について報告

委 員：蕨市は外国籍の市民も多いが、歯科保健について外国籍の人に対しての工夫はあるか。

事務局：乳幼児健診の受診者に対して、分かりやすい日本語を使ったり、翻訳機を使ったりして、なるべく分かりやすい説明を心がけている。

市の事業を行う際に、国籍による区別をしていないが、今後も健診受診者にわかりやすいよう、丁寧に対応していきたい。

委 員：学校健診をしても、幼少期からの歯科保健の重要性を感じる。今後も乳幼児健診での歯科保健の指導を引き続きお願いしたい。

委 員：歯周疾患検診についてだが、コロナ禍においてもこの検診が受診のきっかけになっていると感じた。

委 員：コロナ禍で医科も含めて受診控えが懸念された。しかし、実際は一時的に受診者が減ったこともあったが、歯周疾患検診の受診率を見ると受診控えはなかったように感じた。

委 員：コロナ禍ということもあり、実際に乳幼児健診を受診する保護者から、歯科健診についての質問や問い合わせはあるか。

事務局：近隣市で歯科健診を含む乳幼児健診を集団ではなく個別で行っている市もあるので、個別健診ではないのかという問い合わせも

数件あった。

委員：健診を行う歯科医は、ゴーグル、グローブ、マスク、フェイスガード等の感染予防対策をきちんと行っているが、保護者等から意見があった場合は、保健センターと歯科医師会で情報を共有したい。乳幼児健診の受付時間を区切り、密にならないようにしていると聞いており、クラスターは発生していない。引き続き感染予防に留意し、安全に健診を行ってほしい。

委員：歯周疾患検診については若干受診率が低下したように感じるが、個々で定期検診を受診している患者の受診率は低下していないように思う。歯周疾患検診受診勧奨のチラシ、ポスター等も分かりやすく作られているので、今後とも受診勧奨をお願いしたい。

委員：ちなみに、健診に従事している職員の新型コロナワクチンの接種状況はどうなっているか。

事務局：保健センターの職員に関しては、ほぼ接種している。非常勤職員に対しても接種を勧めている。

(2) 令和3年度 蕨市歯科保健事業について

事務局：令和3年度 歯科保健事業予定について報告

委員：20歳の歯科健康診査の受診期間が昨年度から3月末までに1ヶ月間延長され、受診率が1%上がった。例えば、口腔内クリーニング券等を配布すると、さらに受診率が上がるのではないか。

委員：23区内で、歯科健診の際に歯石除去も同時に行い、歯科健診の受診率も上がり、他の疾病の医療費が下がったという実績がある。受診率の向上が継続受診にもつながると思うので、このような例もあるということで、今後検討してもらえたらありがたい。

委員：フッ化物塗布を1歳6か月児健診しか行っていないが、3歳6か月児健診、4歳6か月児健診でもやってみてはどうか。

委員：1歳6か月児健診はあくまでフッ化物塗布のあくまで導入であり、その後、2歳でフッ化物塗布券を配布している。健診事業にそこまで求めることについてはどうかなと思う。

委員：学校保健でフッ化物洗口をすることが、一番確実にむし歯保有率を下げる方法だと思うが、蕨市では行っていない。健診の際に、保護者に歯科保健について引き続き丁寧に説明してほしい。

委員：むし歯が多い児については、その後定期的に受診しているかどうかのフォローをしてほしい。

委員：健診のアンケート項目のかかりつけ医の有無を今後はこの会議で報告してほしい。口の健康管理をしている人の割合を歯科医として知りたい。口の健康管理をすることが全身の健康管理にもつながる。

委員：歯周疾患検診だけでなく、市で行っている他のがん検診の受診率はどうか。

事務局：肺がん検診は約40%、胃がん検診は約10%等、検診によりばらつきはある。胃がん検診については、数年前から内視鏡検査を始めたが、実施医療機関が少ないため定員600名の抽選とした。そのうち実際に受診したのは400人台だった。受診率を上げることは、どんな検診も難しい。

委員：歯周疾患検診の節目外も定員100名の抽選だが、受診率60%台だった。70%台の年もあるが、年によりばらつきがある。

委員：コロナ禍において、歯科保健が注目を浴びるようになったのは、歯周疾患の予防は全身の健康につながる、さらに感染症の予防になるからだ。今後は、歯周疾患予防が全身の疾患、認知症、感染症の予防になることを来年度からで良いので、受診者へ案内

してほしい。

事務局：歯科医師会様にご意見をいただきながら、受診券等の見直しをしていきたい。

委員：国民運動として定着した「8020運動」のように、歯周疾患と全身の疾患の関係性を市民に伝えてほしい。

委員：ポスターは医科の医療機関にも送ってほしい。

委員：今度医師会の会長にも話してみる。昨今、医科の手術の前に口腔ケアの依頼があることがある。医科と歯科の連携を今後とも図っていきたい。

委員：転出入者が多いという土地柄、かかりつけ医がないという市民の話をよく聞く。妊婦歯科健診、歯周疾患検診等がかかりつけ医をもつきっかけになれば良いと思う。

(3) その他

特になし

5 閉 会

以上